

ドリームツリーとは？

ドリームツリーを描く意図

ドリームツリーとは過去の経験などを基にして現在の環境、好きなことや得意なことを考え、なりたいものやしたいことを頭の中だけで何となく考えるのではなく、具体的なイメージとして見える化を図るためのツールです。イメージをしていただきやすい説明としては

このドリームツリーは学校図書出版の小学4年生用教科書にも採択をされています。夢や目標を具体的に見える化することで脳科学の観点からも様々なプラス効果が発生することが証明されています。（「サブミナル効果」「スモールステップ法」など）そして、夢や目標に向かっていくためには自分ひとりの力だけで達成をするのではなく、普段では意識をしないからこそ気付かない、周囲の応援をしてくれる存在を認識してもらう機会の一つになる作業です。



このドリームツリーを通じて下記のような子どもの心を育てたいと思います。

- ① 主体的に自分の進路を選択・決定できる心
- ② 自分の可能性に気づく心
- ③ 将来、ひとりの人として自立していくことができる心
- ④ 自分のまわりで起きる変化に柔軟に対応していく心
- ⑤ お互いを認め合う心

2013年に行われた高校生を対象とした意識調査で将来の夢や目標があると答えた生徒の比率はどのくらいだと思いますか？実は46%の生徒が「将来の夢がない」という回答をしています。

実は同じ年に小学生に同様の質問をしたところ夢があると答えた生徒は約77%でした。

つまり、成長ともにどんどん夢や目標を見失っている子どもが増えているということなんです。

小学生の時に思い描いた夢、目標を持ち続けるには常に頭のどこかでその「想い」を持ち続ける必要があるのだと思います。



イベント当日は保護者の方にご協力を頂くタイミングもございますので、お時間がございましたら是非、ご参加をいただきたいと思っております。ご自宅では中々聞くことができない生徒の将来への想いなども引き出すことが出来ればと考えております。

